

## 図書館だより

秋田大学附属図書館

附属図書館ホームページ

<http://www.lib.akita-u.ac.jp/>

菅江真澄の道を通って 20

太良（真澄 49 才、1803 年）を訪れての帰途、藤駒ヶ岳（1,159m）への道すがら、キンコウカの群落に息をのむ。

（白神山系、田代岱）

秋田大学名誉教授 山本穆彦氏 画

## 目次

巻頭言 図書館の価値—ほんの一例—	立花 希一	2
新装オープン特集		3
著書紹介 (6)	井門 正美／後藤 文彦	6
本学教職員等著作寄贈図書		7
イベントリポート		8
東日本大震災被害報告／節電について		9
シリーズ 心に残る一冊 (41)	成田 好美	10
医学部分館コーナー		11
お知らせ／編集後記		12

# 図書館の価値—ほんの一例—

附属図書館長 立花 希一



「1872年12月3日」が何の日かを知っているひとはおそらくあまりいないだろう。イギリスのジョージ・スミス (1840-1876年) が、聖書考古学協会での論文を読み上げた日である。大英博物館アッシリア学部門の助手をしていたスミスは、数多くの粘土板の中からアッシリア語で書かれた「大洪水の物語」を発見し、それに関する論文を発表したのだ。この洪水物語を含む作品は『ギルガメシュ叙事詩』(他にもシュメール語版、アッカド語版、古バビロニア語版なども見つかっている)として出版されている(矢島文夫訳、ちくま学芸文庫)。ギルガメシュは、シュメール、ウルク第一王朝の統治者であった(前2600年頃)。

「洪水物語」は、『ギルガメシュ叙事詩』第十一の書板にあるが、そこらからいわゆる『旧約聖書』と酷似している箇所の一節を紹介しよう。『ギルガメシュ叙事詩』では「私〔ウトナピシュティム〕は鳩を解き放してやった。鳩は立ち去ったが、舞いもどって来た。休み場所が見あたらないので、帰って来た」とあるが、『旧約聖書』では「ノアは鳩を彼のもとから放して、—中略— 鳩は止まる所が見つからなかったので、箱船のノアのもとに帰って来た」となっている。カトリックの元聖職者で、アッシリア学の第一人者だったジャン・ボテロ (1914-2007年) は、聖書作者がこの書板を横に置いて、ノアの洪水物語を執筆したとまで述べている。

『旧約聖書』は、西欧では19世紀半ばまで世界最古の書物だとみなされ、それに疑問を抱くものはまったくと言っていいほど誰もいなかった。全知全能の

神の言葉が書かれた作品だと信じていたひとびとにとってはまさにそうであった。ところが、スミスの発見およびそれに続く数十年にわたる多くの学者たちによる研究の結果、『旧約聖書』が世界最古の書物ではないことが判明した。

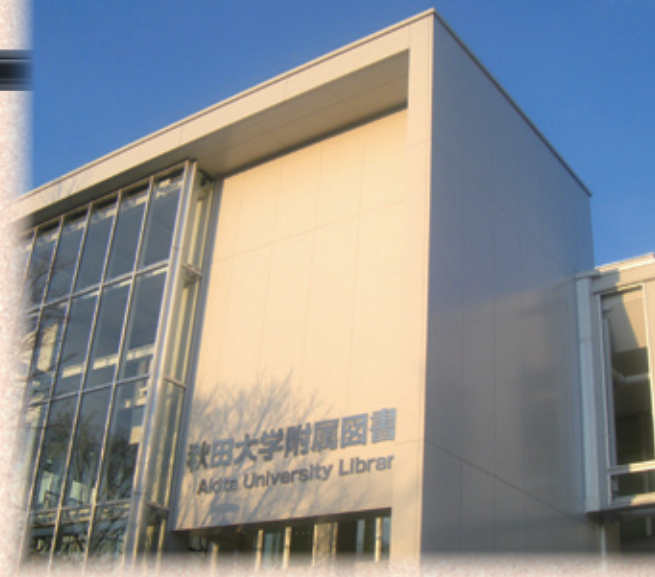
真理探究には、何ものをも絶対視しない相対化の視点が不可欠である。しかしながら、もし第十一の書板が発見されていなかったら、事態はどうなっていたらどうか。確たる歴史的証拠がないままに、現在でも、『旧約聖書』が世界最古の書物としてひとびとに信じられ続けていたかもしれない。

『ギルガメシュ叙事詩』は、アッシリアのアッシュールバニパル王 (前669-627年) が首都ニネヴェに造らせた「王宮図書館」跡から発見された。このような図書館は、メソポタミア地方にはそれ以前からいくつも存在し、アッシュールバニパル王は、いろいろな場所からの図書の収集も命じていた。因みに、日本最古の図書館は、物部氏の石上宅嗣が奈良時代末期に造った「芸亭(うんてい)」だそうだ。

現在では、「古代オリエントなくして、古代イスラエルの世界も古代ギリシャの世界も存在しえなかった」というのが常識になっているが、この知識が得られただけに留まらず、連綿と続く知的伝統が成立したのも、文字の発明と文字を用いて書かれるようになった書物の存在、さらには書物の収集・保存・提供の場である図書館の存在がおおいに関わっているのだ。

(たちばな きいち 教育文化学部欧米文化講座 教授)

# 新しい図書館を ご紹介します!



附属図書館本館（手形キャンパス）が全面改修工事を無事終え、リニューアルオープンしてから半年が経ちました。もうご来館、ご利用いただけましたでしょうか。

「建物が新しくなったのはわかるけど、実際どんなところが変わったの?」という疑問にお答えすべく、新しい図書館のサービス内容をご紹介します。多様化する学びのスタイルに対応した、生まれ変わった図書館をみなさんの学習、研究に是非フル活用してください。

## 問題解決型の学習を支援します!

### リサーチフロア(1F)

コモンズにはディスカッション用のホワイトボードや小グループ用デスク、中型ステープラーやカッターなどを備えた作業台もあり、自由な形態、自由な発想でご利用いただけます。



情報検索性 PC の台数が増えたほか、各所に情報コンセントを配し、無線 LAN にも対応することで、持ち込み PC での調査研究も自在に行えます。



二次資料、統計資料のほか、よく利用される新聞のバックナンバーも専用棚に並べられ、格段に使いやすくなりました。

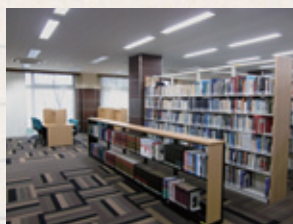
※新聞は秋田魁新報を5年分、その他は1年分を保存しています。また、朝日新聞は記事データベース【聞蔵】をサービスデスクにてご利用いただけます。各紙の縮刷版の有無は図書館ホームページの蔵書検索でご確認ください。

## 勉強に没頭できます!

### サイレントフロア(2F)

2階の閲覧室は従来型の静かに学習するスペースです。一人用キャレルデスクやカウンター席など、お好みの机で勉強に没頭してください。飲食、PCの持込操作は禁止です。

以前は分野別に分かれていた開架図書がすべてこのフロアに集約され、勉強しながらの資料探しにとっても便利になりました。

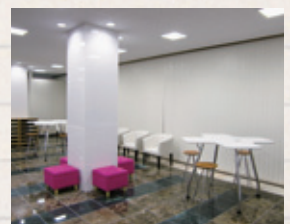


## くつろぎのスペースで気分転換を!

### ラウンジ(1F)

正面入口を入ってすぐ、ホテルのロビーを思わせるラウンジでは新聞、雑誌やTVがあり、飲食も可能です。TVではNHK-BS1のニュースやスポーツ中継を放映しています。

コーヒーなど飲料や軽食の自動販売機室が隣接し、2F渡り廊下から学生支援棟へ行くこともできます。



部屋の選択肢が豊富です！

学習室(1F)

学習個室(1~4人用)が5室、グループ学習室(6~12人用)が4室と、これまでの2室から大幅に増えました。それでも午後には連日予約でいっぱいになる人気の施設です。WEB申込みでどこからでも予約や予約状況の確認ができ、利便性も高まりました。

各室情報コンセント完備で持ち込みPCの利用も可能です。またグループ学習室は部屋により黒板、ホワイトボード、電子黒板が備え付けられていますので、教育実習前に板書の練習をする、学校現場で導入が進む電子黒板を操作してみるなど必要に応じてお選びください。



視聴覚室(2F)

防音を施しており、館内の視聴覚資料を音を出して視聴することができます。6人程度の利用が可能です。

なお、1F commonsにはヘッドフォンで視聴できる個人用ブースもあります。

研修室(2F)

プロジェクタやスクリーンを備え付け、コート掛けや案内板もあります。

発表や会議、授業などにもご利用いただけます。定員は24人程度。

※学習室、視聴覚室、研修室は、学内の方なら教職員、学生問わず利用可能です。全室予約制ですので、図書館ホームページの[施設予約]からお申し込みください。

まだまだあります、便利になった図書館！

書庫がフリーアクセスと  
なりました

以前は書庫の入室を特別利用カードで鍵管理していましたが、自由に入室できるようになりました。1Fから3Fまで全フロアに増設された電動集密書架は大容量を誇り、開架と合わせ総延長15kmの書架に並ぶ40万冊を超える書籍を自由にご利用いただけます。書庫資料は貸出も可能です。

なお、学術雑誌のバックナンバーは、和洋ともすべて書庫に収蔵されています。

機器の館内貸出を始めました

電子書籍体験ができるiPad、e-ラーニング用ヘッドフォンなど、機器の館内貸出をしています。学生証および図書館利用者カードをお持ちの上、サービスデスクで手続きしてください。

館外貸出は行っておりません。

貸出機器…iPad、ノートパソコン、プロジェクタ、デジタルビデオ/カメラ、LANケーブル、レーザーポインタ、電源延長コード、ヘッドフォン

カラーコピー機が入りました

これまで1台だったモノクロのコイン式コピー機にカラー対応機種が加わり、順番待ちの解消やカラーコピーのご要望にお応えできるようになりました。

企画展示を行っています(不定期)

その時々旬な話題をテーマにした図書の展示や、所蔵する非公開の貴重資料などを不定期で展示しています。今年度は新入生向けに大学生活や秋田について、また震災によって注目される東北や就活についての資料や、教育勅語の写しなどを展示しました。



今後も随時、新たな企画で所蔵資料の展示を行う予定です。どうぞお楽しみに。

知らなかった?!こんなこともやっています!

### 秋田県立図書館との相互貸借を行っています

秋田大学に所蔵が無く、県立図書館にはある資料を無料で取寄せ、借用できます。大学図書館の専門性と、公共図書館の広範性を互いに有効活用できるサービスです。学術資料はもちろん、ベストセラー小説や趣味の本など、大学には少ない分野の資料もお楽しみいただけます。

手続きは My Library から、県立図書館のホームページで所蔵を確認の上、学外文献依頼と同じ要領で通信欄に「県立図書館所蔵」と入力してお申し込みください。

※貸出中の資料は申し込みできません。

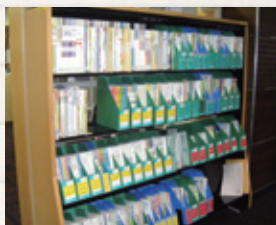
### 情報リテラシー授業を開講しています

教養基礎教育「情報と知識・技術 B ー実際に役立つ学習技術ー」ではネットワーク時代における的確な情報収集法が学べます。春と秋の2回開講していますので、どうぞ受講してください。有用なデータベースの検索法などすぐに役立つ内容で、充実のレポート・論文作成を応援します。

### 地球に優しい図書館です

屋上に太陽光パネルを設置しています。キャレルデスクは全席 LED 照明付、館内の蛍光灯には消費電力の少ない Hf 管を多用し、環境に配慮した施設でこの夏の節電を乗り切りました。

### さまざまな特設コーナーがあります



「教科書コーナー」では県内のすべての小・中学校と、秋田高校、秋田南高校で実際に使われている教科書が並んでいます。教育実習の準備や教材研究などによく活用され、コピー機前に長蛇の列ができることも。日本語習得のための参考書や留学生向けの日本生活ガイドなどを集めた「国際交流コーナー」、秋田大学の教職員やその OB の著書等が並ぶ「秋田大学コーナー」もあります。

そのほか秋田県関係、楽譜、シラバスとシラバス掲載資料、博士論文などいろいろなコーナーがありますのでどうぞ活用ください。

新しくなった図書館と、そのサービスを一気にご紹介しました。それでもこの紙面では伝えきれないものがあります。まずはご来館、体感してください。まだまだあなたの知らない図書館があるかもしれません。

ご不明な点はサービスデスクへお気軽にご相談ください。また、ご意見やご希望がございましたらどうぞお知らせください。

みなさまの新たな発見のお手伝いができますよう、スタッフ一同お待ちしております。

### 各種出版物を発行しています

図書館ではホームページのほか、出版物での情報発信も行っています。中でも「秋田大学情報探索ガイドブック」は、図書館の利用案内から学術文献の調査法まで、図書館でできることのすべてが詰まった1冊です。



ほかに、図書館だよりや My Library 案内パンフレット、カード型の開館カレンダーもあります。今年はいリニューアルした図書館の紹介パンフレットも作成しました。オリジナルのクリアケース入りです。最新情報をリアルタイムでお知らせする Newsletter も不定期で発行しています。

すべて館内各所に置いていますので、必要に応じてご自由にお持ちください。

※図書館だよりと Newsletter はホームページより PDF 版でもご覧いただけます。

## 著書紹介 (6)

### 『役割体験学習論に基づく法教育』

—裁判員裁判を体感する授業—

井門 正美 著

(255頁 現代人文社 2011年2月発行)



2009年5月から裁判員裁判が始まった。刑事裁判に市民が参加し裁判官と共に審理する制度だ。それだけに、市民には法的実践力(法に関する知識と技能、運用能力)が求められ、学校では法教育の充実が叫ばれている。しかし、これまでの法教育は知識ばかりを教え込み、それがどのような文脈で産出され、実生活でどんな意味を持つのかをほとんど教えてこなかった。法に関する技能や運用能力などはなおさらだ。

本書は、こうした社会情勢と問題状況に鑑み、学習者に法的実践力を培うための教育方法として「役割体験学習論」を提唱している。すなわち、「学習者がある役割を体験することにより、考察対象を理解し問題を解決する学習方法」である。実際に

裁判所に行って「傍聴人」を経験したり、模擬裁判で「裁判員」や「被告人」を擬似体験したりするなど、学習者に「社会的役割」を体験させる。直接体験であろうと、擬似体験であろうと、児童・生徒や学生はその立場から切実に学習に取り組み、必要な知識や技能を獲得する。さらには、問題点も発見し、強い動機でその解決へと向かう。

本書は、役割体験学習論に基づき実施した「法曹三者と学生による裁判員模擬裁判」(2006年、2008年)\*を中心に、多様な法教育の実践事例を紹介している。法教育を超えて、教育とは、学びとは何かを問いかけているので、是非お読みいただければと思う。筆者の示す「他者存在の意義を感じる授業」こそ社会の基盤造りになると確信する。

\*これらの模擬裁判は、平成18年度から平成20年度まで秋田大学が取り組んだ文部科学省の特色ある大学教育支援プログラム「ゲーミング・シミュレーション型授業の構築—社会的実践力を培う体験的学習プロジェクト—」(委員長筆者)の事業として実施されたものである。本書はこの成果を中心にまとめた。

(文：いど まさみ 教育文化学部教科教育学講座 教授)

この図書は本館2階F—秋田大学コーナーにあります。(375.31 || I19)

### 『良いプレゼン 悪いプレゼン』

—わかりやすいプレゼンテーションのために—

後藤 文彦 著

(123頁 カットシステム 2009年1月発行)



本書は、私が学生用に書いたウェブページが書籍化されたものである。プレゼンの手引書は掃いて捨てるほどあるが、学生たちのプレゼンがわかりにくいのは、そういう技術的な問題以前に、もっと本質的な別の問題のせいだと私は実感した。簡単に言うと、学生たちは「人前では普通に話してはいけない」という通念を強力に刷り込まれて呪縛されており、NHKのニュース原稿でも読んでいるかのようなコチコチの書き言葉でしゃべろうとするのだ。

私は子供の頃、ニュースで話されている日本語がまるで理解できなくて、どうして大人はこんな訳のわからないテレビを毎日 見ているのかと不思議に思ったものだが、大人になった今でもニュース番組の日本語は、バラエティー番組に比べると圧倒的にわかりにくい。重文や複文が連なる長文の書き言葉をそのまま読み上げられたって、耳で聞いて理解しやすいわけがない。

普通の日常的な話し言葉で話せばわかりやすいことを、一般庶民には聞き取りにくい高級そうな

書き言葉に翻訳してしゃべらないと、聞き手に失礼であるかのような思い込みが、教育者にも庶民にも共有され、今日も学校教育やメディアで再生産されている。とても根の深い社会言語学上の深刻なテーマであるが、これこそ、わかりにくいプレゼンが蔓延する本質だと私は考察する。

そういうわけで本書は、スライドの作り方といっ

たプレゼンの技術的なことも、こうした社会言語学的？テーマについてのエッセイをおりませながら書かれている風変わりな手引書である。

なお、この本にはクリエイティブ・コモンズ(表示-非営利-継承 2.1 日本)のライセンスを適用しているの、条件に従うなら複製したり書き換えて二次的著作物を作成したりできる。

(文：ごとう ふみひこ 工学資源学部土木環境工学科 准教授)

この図書は本館2階F-秋田大学コーナーにあります。(336.4 || G72)

## 本学教職員等著作寄贈図書

(平成22年9月～平成23年8月受入)

本学教職員が著し、寄贈されたものです。ありがとうございました。本館所蔵図書は「2階F-秋田大学コーナー」にあります。

寄贈者名(敬称略)	書名	出版社	出版年	請求記号
勝守真 著	現代日本哲学への問い：「われわれ」とそのかなた	勁草書房	2009	本館 121.6    Ka88
井門正美 翻訳企画	ロール・プレイ：理論と実践	現代人文社	2011	本館 146.8    Y59
Donald C. Wood 編	Economic action in theory and practice : anthropological investigations	Emerald	2010	本館 332    W86
高田知恵子 編著	子ども おとな 社会：子どものこころを支える教育臨床心理学	北樹出版	2010	本館 371.4    Ta55
對馬達雄 編著	ドイツ過去の克服と人間形成	昭和堂	2011	本館 372.34    Ts91
秋田大学教育文化学部附属小学校 著	秋田大学教育文化学部附属小学校授業改革への挑戦 社会科編	一莖書房	2010	本館 375.1    A37    v.3
井門正美 著	役割体験学習論に基づく法教育：裁判員裁判を体感する授業	現代人文社	2011	本館 375.31    I19
湊三郎 訳	数学的文化化：算数・数学教育を文化の立場から眺望する	教育出版	2011	本館 375.41    B47
勝守真 著	相対性理論の哲学	勁草書房	1986	本館 421.2    H71
西川竜二 共著	エクセルギーと環境の理論：流れ・循環のデザインとは何か 改訂版	井上書院	2010	本館 520    Sh99
篠原秀一 分担執筆	商品化する日本の農村空間に関する人文地理学的研究	(科研費報告書)	2011	本館 611.15    Ta11
石井宏一 分担執筆	アートとデザインの構成学：現代造形の科学	朝倉書店	2011	本館 757    Mo45
西田文信 監修	広東語＋英語(地球の歩き方トラベル会話：11)	ダイヤモンド社	2010	本館 828.4    C44
志立正知 分担執筆	平家物語「伝統」の受容と再創造	おうふう	2011	本館 913.434    Su96
高橋康弘 分担執筆	(雑誌) 都市問題 Vol.102 No.2	東京市政調査会	2011	本館 書庫1階N-和雑誌(秋大コーナーではありません)
塩谷隆信 共編	極める!!最新呼吸リハビリテーション：今すぐできる栄養リハビリテーションとADL/IADLトレーニング	南江堂	2010	分館 WF145    Ki83    2010
塩谷隆信 編	遺伝性出血性末梢血管拡張症(HHT)の診療マニュアル	中外医学社	2011	分館 WG500    I19    2011
塩谷隆信 共編著	呼吸ケアリハビリテーションmini：臨床実践!虎の巻	中外医学社	2010	分館 WK145    Ko54    2010

※図書館では本学教職員の著作物(単独著書、共著書、編著書、訳書、分担執筆、学位論文)を積極的に収集し、利用に供しています。出版の折にはご寄贈くださるようお願いいたします。

## 東北地区大学図書館協議会合同研修会

2011年7月29日

7月29日(金)、秋田大学を会場に東北地区大学図書館協議会合同研修会を開催しました。

テーマは「図書館を守る」。基調講演では『図書館を災害から守る～東日本大震災にあたって』と題して、国文学研究資料館准教授の青木睦氏より、被災現場の現状と復旧に向けた取り組みを現場で活動されている視点からご講演いただきました。

グループ別情報交換会では、「図書館資料の保存・管理」または「安全な図書館の作り方」について、震災での経験を踏まえた具体的な有意義な情報交換が行われました。

また、研修会に合わせて、当館で所蔵している保存・修理用具の展示と図書館の見学ツアーを実施しました。

保存・修理用具展示では、修理用具の用途や使い方の説明に、熱心に耳を傾ける参加者が多数見られました。具体的に修理用消耗品の入手方法と価格を質問される参加者もあり、資料修理の関心の高さが窺えました。

研修会前後に行った図書館の見学ツアーにも多くの方が参加され、耐震改修工事により、新しくなった図書館施設と機能について、たくさんの質問が寄せられました。



基調講演の様子



保存・修理用具の展示会場

## 秋田大学子ども見学デー

2011年8月23日

夏休み恒例の秋田大学子ども見学デーが8月23日(火)に開催され、図書館コースには、親子合わせて23名の参加がありました。

立花附属図書館長の歓迎挨拶のあと、館内ツアー、スタンプラリー、メモ帳作成、iPad読書と、夏休みのひとときを親子でアカデミックに過ごしていただきました。



用紙をきれいに揃えてメモ帳作成



親子でiPad！



## 図書修理講習会

2010年11月17日・18日

恒例となった図書修理講習会を昨年11月17日(水)・18日(木)に実施しました。国立公文書館から修復の専門家3名を講師に迎え、秋田大学のほか、秋田公立美術工芸短期大学と秋田工業高等専門学校からも参加し、計11名が受講しました。

洋装本コースと和装本コースに分かれ、専門家の指導の下、破損状況に応じた適切な修理技術を学びました。今回の震災で落下し破損した資料の修理にも、講習会で習得した技術を使っています。

今年度からは月に1日の修理日を設け、学んだ修理技術を維持・習熟するとともに、図書館資料の修理・保存により一層努めています。

## 東日本大震災被害報告

2011年3月11日(金)は忘れることのできない日となりました。

秋田市内は震度5強を記録し、翌日の夕方まで停電が続きました。当館では大きな被害は無かったものの、資料が多数落下(本館：1,265冊、分館：219冊)するなどの被害がありました。

本館は耐震改修工事のため休館中、医学部分館は開館していましたが、地震後に臨時閉館しました。現在は全て復旧していますが、予知できない災害に備え、日頃から物心両面の準備が必要であることを再認識しました。



書架の間の通路に多数の図書が落下しました。(本館)



分館では書架側面の化粧板が5箇所落下しました。

## 節電への協力について

今夏は節電のため、冷房機器の設定温度を高くしたり、エレベータを停止するなど、利用者の皆様にはご不便をおかけしました。ご協力ありがとうございました。

これから冬に向けて、再び電力使用量の増加が見込まれるため、節電への協力が必要です。引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

# 『月と六ペンス』

サマセット・モーム 著  
新潮文庫 1959



成田 好美

サマセット・モームといえばこの作品、という方も多いと思う。高校時代、「あなた達はバカなのです。だからこの作品を読みなさい。」と美術の先生が薦めてくれた本が「月と六ペンス」だった。私は、今なら大問題になりそうな発言の数々を生徒に平気で言うこの美術の先生が好きだったし、「月と六ペンス」という響きの美しさにも惹かれて読んでみた。

「月と六ペンス」は、「画家ポール・ゴーギャンの伝記から暗示を受けたものである」が、決してゴーギャンの伝記ではなく、あくまでも一つの小説である。実際、主人公のチャールズ・ストリックランドとゴーギャンの人生はかなり違う部分が多いそうである。題名の「月」は芸術創造の狂気つまり夢や理想を、「六ペンス」は平凡な俗世間をさすと言われている。簡単にあらすじを述べると、『平凡な中年男の株屋ストリックランドは、絵を描くためだけに、ある日突然、安定した生活と妻子を捨ててパリへ出る。極貧生活など苦でもなく、売れない絵をひたすら描き続ける。唯一彼の才能を理解していた親切でお人よしの友人から愛妻を奪い、しまいには女性を自殺させる。その後も金のためでもなければ、他人に見せるためでもなく絵を描く。彼はタヒチに逃れ、土地の女性アタと同棲し、病に苦しみながらも、壮麗な大壁画を完成させて死ぬ。』という内容である。主人公のストリックランドは芸術のために、冷酷きわまる身勝手な生き方をした人間である。平凡でバカな高校生の私に、彼の生き方を理解することは当然できなかった。

主人公ストリックランドの生き方を理解することはできなかったが、なぜか彼を嫌いになることはできなかった。ストリックランドは非情で冷酷な人間かもしれないが、絵画に関しては真摯で、本当の芸術を知るためにとことん自分を追い込んでいく。理想の芸術を目指して生きるストリックランドとは対照的に、作品中には平凡な俗世間を生きる人々も数

多く登場する。俗世間の人々は、彼にさんざん傷つけられても、最後まで彼を憎むことができずにいる。代表的な人物は愛妻を奪われた友人だろう。あんなにひどい仕打ちを受けても結局は彼を許し、ストリックランドの作品を尊敬してやまない。ストリックランドに最初は不快感を抱いていたこの物語の語り手も「四十七といえは、たいていの人間なら、もはや何不足なく、一定の生活軌道に落ち着いてしまう年頃だが、その歳になって、新しい世界を求めて出発していったという彼の面影を、僕は深く愛していた。」と言っている。天才には平凡な人間を惹きつける魅力があるのだろうし、自分が本当にやりたいことを知り、失うものを恐れず、その世界に飛び込む姿にあこがれるのだと思う。「月と六ペンス」を読んでから随分と年月がたった。あの時の先生は、人生これからの私たちにストリックランドの生き方から何かを学び取ってほしかったのかもしれない。しかし、気づいてみたらますます平凡な俗世間に浸り、私も「六ペンス」の現実にあくせくと向きあう日々である。

とはいえ、ストリックランドも芸術の世界に飛び込むまでは、平凡な俗世間を生きていた。人は本当にやりたいことが見つければ、何歳からでも挑戦できるし、手遅れということはないのだろう。ストリックランドは最後に「魂のどん底から揺り動かされるような」大傑作の壁画を残すが、自分の死後、大壁画を燃やしてしまうようアタに言いつけており、アタはその約束を守る。なぜ、彼は大壁画を燃やしてほしかったのだろう。ストリックランドは大事なものを捨てることで、新たな芸術という世界に飛び込むことができた。今度は人生をかけた大壁画を捨てることで、彼は死んでもなお、新たな世界に挑戦し続ける自分でいたかったのではないだろうかと思っている。

(なりた よしみ 医学部母子看護学講座 助教)

この図書は本館2階Dにあります。(933.7 Ⅱ Ma95)

# 医学部分館コーナー

## 医中誌 Web がバージョンアップしました！

医中誌 Web の新バージョン「Ver.5」がリリースされました。

現在、「Ver.4」と「Ver.5」ともにご利用いただけますが、新バージョンでは次のように改善されました。

「BASIC MODE」と「ADVANCED MODE」が統合されたことにより検索画面が一新しました。

また、「ログインまでのステップを簡略化」「検索対象年のデフォルトを全年に（以前は最新5年）」などのベーシックな部分が改善され、全体的に使い勝手が向上しています。

## メディカルオンラインがリニューアルしました！

メディカルオンラインが9月にリニューアルされました。

大きな変更点は、「くすり」データベースが公開されたことです。日本国内で承認・販売されている医薬品の添付文書情報のデータベースで、毎月更新の薬価や参考文献などの医薬品情報を入手することができるようになりました。

The screenshot shows the Medical Online website interface. The navigation menu includes 'ホーム', '文献', 'くすり', 'プロダクト', and '医学書販売'. The 'くすり' tab is highlighted with a red circle. Below the navigation menu, there is a search bar and a sidebar with a login panel for 'yoshino-nagasaki-u.ac.jp'. The login panel shows fields for ID and password, and buttons for 'MYページログイン', 'MYページ新規登録', and 'ログアウト'.

## 医学部分館空調設備改修工事のお知らせ

設備の老朽化による故障が発生していた空調設備の改修工事が、9月下旬から11月下旬にかけて行われることになりました。

期間中は、騒音・振動等が発生し、利用者の皆様にはご迷惑をかけることとなりますが、よろしくご協力をお願いします。



## Scopus (スコパス) を導入しました!

今年4月に待望の引用文献検索データベース“Scopus”を導入しました。

Scopusはエルゼビア社が提供する世界最大級の引用文献検索データベースです。人文科学、社会科学、自然科学など全ての分野を対象とし、約4300万件のデータを収録しています。(Engineering Village, Inspec, CAS, PubMed, Cinahlなどのデータも含んでいます。)

論文の被引用件数を調べることができ、参考・引用論文へのリンク機能があります。電子ジャーナルへも簡単にアクセスできます。(本学契約分及び無料分)

図書館ホームページの  各種データベース からご利用ください。

## iPad の館内貸出を始めました(本館)!

話題のiPad、ご利用になったことはありますか?

本館では、学内者を対象にiPadの館内貸出を開始しました。iPadでインターネットや電子図書の利用ができます。学習・研究のお供にぜひご利用ください。

### 【iPad 利用上の注意】

- ・ご利用の際は学生証(または図書館利用者カード)をお持ちの上、サービスデスクにお申込ください。
- ・MyLibraryに登録されている必要があります。また、無線LANを利用する場合、総合情報処理センターのアカウントが必要です。
- ・館内(1F コモンズ及びグループ学習室)での利用に限ります。
- ・印刷はできません。



※本館では、館内利用機器として、iPad以外にも、ノートパソコンやデジタルビデオ/カメラ、プロジェクタ等の貸出を行っています。例えば、プレゼンテーションの練習をデジタルビデオ/カメラに録画していませんか。客観的に自分のプレゼンテーションの様子を見ることにより、プレゼンテーション技術の向上に繋がります。iPadと同じ要領でご利用ください。

## 編集後記

今号は新装オープン特集をお送りしました。新装した図書館は、あまりに変わりすぎて戸惑うこともあったかと思いますが、今回の特集で見た目だけではなく使いやすさも向上したのがご理解頂けたのではないのでしょうか。

また、イベントのページで紹介しましたように、7月に秋田大学で図書館の安全に関する研修を開催しました。図書館では、利便性だけではなく安全性にも配慮した運営を行っております。新しくなった図書館を安心してご利用ください。

### 図書館だより 第69号

2011年10月1日発行

編集 秋田大学附属図書館出版物編集委員会  
発行者 秋田大学附属図書館  
〒010-8502 秋田市手形学園町1-1  
TEL 本館018-889-2279 分館018-884-6052  
FAX 本館018-832-4917 分館018-884-6252  
E-mail: 本館 riyos@lib.akita-u.ac.jp  
分館 ibun@lib.akita-u.ac.jp